

HLOOKUP

提供: ExcelPedia

概要

指定された範囲の 1 行目で特定の値を検索し、その範囲内の別の行の同じ列にある値を返します。検索する値がテーブルの一番上の行にセットされている場合に向いている検索関数です。

書式

次の書式で引数を指定します。

HLOOKUP(**検索値**, **範囲**, **行番号**, **検索の型**)

各引数の説明

検索値

範囲の左端の列で検索する値（値、セル参照、または文字列）を指定します。

範囲

目的のデータが含まれるテーブル（セル範囲の参照、または名前付き範囲）を指定します。

列番号

範囲内で目的のデータが入力されている行を、上端からの**行数**（数値、または数値入力されたセルへの参照）で指定します。1未満を指定した場合はエラー値 #VALUE!、引数範囲より大きな行数を指定した場合はエラー値 #REF!

検索の型

TRUE/省略

検索値が見つからない場合に、検索値未満で最も大きい値が使用されます。

検索値が範囲内のどの値よりも小さい場合は エラー値#N/A。

FALSE

検索値と完全に一致する値だけを検索。見つからない場合は エラー値#N/A。

使用例

完全一致検索の場合

次の使用例は、1 行目から"きりん"を検索し、それに対応する 2 行目の値を返す。

HOOKUP関数使用例（完全一致）

	A	B	C	D	E
1	かめ	うさぎ	きりん	ねこ	
2	4	2	6	9	
3					
4					
5					
6				きりん	=HLOOKUP(D6,A1:D2,2,FALSE)

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。
 Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

近似値検索の場合

A次の使用例は、検索範囲の1行目にはない値、「5」を検索値に指定すると、「検索値に満たない最大値」が検索結果の列位置となる。下記の例では、「4」が「5に満たない最大値」であるので、その2行目の「かめ」がHLOOKUP関数の返り値になる。

HLOOKUP関数使用例（近似値）

	A	B	C	D	E
1	2	4	6	9	
2	きりん	かめ	うさぎ	ねこ	
3					
4					
5					
6				5	=HLOOKUP(D6,A1:D2,2,TRUE)

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。
 Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

「<http://localhost/mwiki/index.php/HLOOKUP>」より作成

カテゴリ: 関数

- このページの最終更新は 2011年6月6日 (月) 10:33 に行われました。